



前回五輪のようなシーンは見たくない!

ていたと思います。この韓国選手権はキム・ヨナ以外に世界に名の知れた選手はいない。昨年12月の復帰戦だったクロアチアの大会も、GPファイナルと同じ日程で開かれ、世界的な選手が出場しない大会でした。現在の採点基準では、審判は絶対評価ではなく絶対評価を行わなくてはならないのですが、同じリンクで滑るのが格下ばかりなら、審判にもキム・ヨナは実力以上の輝きを持って見られていたはずだ。

そんな虚勢を張ったところで、ソチ五輪本番ではトップクラスの選手がそろって意味がないようにも見

えるが...。

「五輪前の最終戦で途方もない得点を出せば、ますますキム・ヨナはスゴい選手だ」という先入感を、五輪本番の審査員に植え付けられる。すると、五輪本番では世界トップレベルのキム・ヨナに悪い点をつけにくくなる。審判だって人間ですから、それは不思議ではない。キム・ヨナ側がそれを意図していたのではないでしょうか(前出・デスク)

浅田は五輪前の最終戦である日本選手権で3位に終わった。五輪代表には選出されたが、審判員にいい印象を与えていないのも事実である。そして、この印象が意外と重要なのだ。

スポーツジャーナリストはこう話す。

「前回のバンクーバー五輪では、国際スケート連盟による大会前の審判員研修が行われました。その際に、審判員に配られた採点基準の具体的な演技例が取められたDVDが配布されました。国際スケート連盟は否定していますが、そのDVDで採点基準の見本の演技

をしようか(前出・デスク)

「キム・ヨナはバンクーバー五輪の4年前から練習拠点カナダに移し、カナダ人コーチに師事するなど用意周到に準備していた。それだけでなく、韓国のスケート連盟は総力をあげて、国際スケート連盟にさまざまな

まさか、孤軍奮闘せねばならない浅田。しかも、相手はキム・ヨナだけではない。審判や裏技まで駆使する韓国スケート連盟が背後に控えている。

あの細い体で、この大きな逆風をどうはねのけていけばいいのか。

前出・渡部氏はこう話す。「五輪前の最終戦でキム・ヨナが真央ちゃんよりも点

数で勝っていたとしても、それはあまり意味はありません。荒川静香さんのように、事前に有力視されていなくても、金メダルを獲得することもあるわけですからね。まず言えるのは、大きなミスをしたほうが負けるといふことです。でも、ミスを恐れて、真央ちゃんがトリプルアクセルを跳ばないという選択をしてはいけ

ない。キム・ヨナのトリプルルッツは一般品ですから、やはりキム・ヨナが跳べないトリプルアクセルを成功させることが鍵を握っていると思います。

そして、キム・ヨナにも弱点はある。冒頭にも記したが、「体力面」である。

前出・折山氏が言う。

「韓国選手権のキム・ヨナのFSの演技は後半にミスが目立った。明らかにスタミナ不足に陥っています。もちろん、キム・ヨナが1カ月間でスタミナ不足を克服してくる可能性もある。それでも、真央にはバンクーバー後にスケートティングテクニクを見直してきた上積みがある。トリプルアクセルをSPとFS合わせて3回跳ぶプログラムを2回に減らしたとしても、その2回のトリプルアクセルで回転不足を取られずにきちんと跳べば、キム・ヨナに勝てる力が十分あると思っています。」

ぜひとも、浅田の会心の演技でキム・ヨナの怪しげな高得点を吹き飛ばしてほしいものだ。

■キム・ヨナ「14年韓国選手権」詳細成績■ 総合得点 SP FS 227.86 80.60 147.26

「ショートプログラム」(SP)

技術点				演技構成点	
演技構成	種別	基礎点	合算点	項目	評価点
1. 3回転ルッツ+3回転トーループ	ジャンプ	10.10	12.11	スケート技術	9.56
2. 3回転フリップ	ジャンプ	5.30	7.05	演技のつなぎ	9.38
3. フライングキャメル④	スピン	3.20	4.39	演技表現	9.69
4. 2回転アクセル(X)	ジャンプ	3.63	4.88	振り付け	9.59
5. レイバック③	スピン	2.40	3.28	音楽の解釈	9.75
6. ステップシークエンス④	ステップ	3.90	5.83	演技構成点小計	38.37
7. 足換えコンビネーション④	スピン	3.50	4.69	技術点	42.23
技術点小計				32.03	42.23
				構成点	38.37
				合計	80.60

「フリースタイル」(FS)

技術点				演技構成点	
演技構成	種別	基礎点	合算点	項目	評価点
1. 3回転ルッツ+3回転トーループ	ジャンプ	10.10	11.76	スケート技術	9.69
2. 3回転フリップ	ジャンプ	5.30	7.31	演技のつなぎ	9.44
3. 3回転サルコー+2回転トーループ	ジャンプ	5.50	6.99	演技表現	9.66
4. フライング足換えコンビネーション④	スピン	3.50	4.63	振り付け	9.72
5. ステップシークエンス④	ステップ	3.90	5.91	音楽の解釈	9.75
6. 3回転ルッツ(X)	ジャンプ	6.60	8.70	演技構成点小計	77.21
7. 2回転アクセル+2回転トーループ(X)	ジャンプ	5.06	5.94	技術点	70.05
8. 3回転サルコー(X)	ジャンプ	4.62	6.02	構成点	77.21
9. レイバック③	スピン	2.40	3.28	合計	147.26
10. コレオシークエンス	ステップ	2.00	3.75		
11. 1回転アクセル(X)	ジャンプ	1.21	1.26		
12. 足換えコンビネーション④	スピン	3.50	4.50		
技術点小計				53.69	70.05

※(X)は演技後半のジャンプのため基礎点が1.1倍。○内の数字はレベルで数字が大きいかほど基礎点が高い。演技構成点小計は5項目それぞれにS Pが0.8倍、フリーが1.6倍された点数の合計。

「実際に、キム・ヨナはこの失敗ジャンプのあと、スケートティングが不安定になって、本来ならば演技構成点の演技のつなぎがもっと低くなってもおかしくないのに、9.44という点数で済んだ。他の技においても少しづつ多めに加点されていたら、思ってもいない。議論ではない。」「実際に、キム・ヨナはこの失敗ジャンプのあと、スケートティングが不安定になって、本来ならば演技構成点の演技のつなぎがもっと低くなってもおかしくないのに、9.44という点数で済んだ。他の技においても少しづつ多めに加点されていたら、思ってもいない。議論ではない。」「実際に、キム・ヨナはこの失敗ジャンプのあと、スケートティングが不安定になって、本来ならば演技構成点の演技のつなぎがもっと低くなってもおかしくないのに、9.44という点数で済んだ。他の技においても少しづつ多めに加点されていたら、思ってもいない。議論ではない。」

「技術点の減点に関しては明確な国際基準がありませんが、今季のフィギュア界の高得点続出の状況を見れば、加点の基準には不可解な面もあります。さらに、演技構成点にいたっては、審判の主観で判定されている。スポーツなのだから審判の主観は必要ないはずなのですが、フィギュアは芸術表現でもあり、主観があるって当然という反論があるのも事実です。」

合なのです。そして、フィギュアの技一つ一つに基礎点が定められていて、技の出来映えを最大9人(韓国選手権は8人)の演技審判が判定し、基礎点にプラス3〜マイナス3の7段階で加点、減点をし、点数が決

まるのです。そこで、今回のキム・ヨナのシングルアクセルですが、2人の演技審判がプラス1点の加点をしているのです。減点があってもおかしくないのに、1人も減点していません。確かに、キム・ヨナは回転

数で失敗しても着氷でミスをしないう技術を持っていますが、国際大会ではありえない判定です。」

結果的にシングルアクセルでは、わずか0.05点の加点ということになるが、それだけ大甘な判定がまかり通っていたのだから、他の技においても少しづつ多めに加点されていたら、思ってもいない。議論ではない。」「実際に、キム・ヨナはこの失敗ジャンプのあと、スケートティングが不安定になって、本来ならば演技構成点の演技のつなぎがもっと低くなってもおかしくないのに、9.44という点数で済んだ。他の技においても少しづつ多めに加点されていたら、思ってもいない。議論ではない。」

4.4点も出ている。さらに、音楽の解釈という項目では失敗ジャンプに加点した2人の審判を含む3人が10点満点を出している。そもそも10点満点なんて、めったにお目にかかれない点数です。今季のGPシリーズでは1度も出ていません。」

(前出・スポーツ紙記者)

つまり、このキム・ヨナの高得点は盛りに盛りまくった点数だったのだ。

しかも、浅田がキム・ヨナに敗れた大会は、常に技術点の加点と演技構成点で大きな差をつけている。いや、浅田が優勝した10年の世界選手権でも、SPで浅田はキム・ヨナに大差をつけていたからよかつたものの、FSではキム・ヨナに

敗れている。浅田はトリプルアクセルを完璧に跳んだにもかかわらず、五輪金メダル獲得直後で精彩を欠いたキム・ヨナに技術点の加点と演技構成点で大差をつけられたのだ。

前出・折山氏はこう話す。「技術点の減点に関しては明確な国際基準がありませんが、今季のフィギュア界の高得点続出の状況を見れば、加点の基準には不可解な面もあります。さらに、演技構成点にいたっては、審判の主観で判定されている。スポーツなのだから審判の主観は必要ないはずなのですが、フィギュアは芸術表現でもあり、主観があるって当然という反論があるのも事実です。」

見本DVDにキム・ヨナが...

では、キム・ヨナの怪しい高得点の背景に何があるのか。その裏側に隠されたカラクリを、スポーツ紙デスクはこう分析する。

「バンクーバー五輪では真央とキム・ヨナの点数に大差がつき、審判の買収があ

ったのではと口さがない噂が流れました。今回は、国内で無敵のキム・ヨナが韓国選手権で審判を買収する必要などありません。ただ、高得点が出やすい環境が整っているということからは、キム・ヨナ側は計算し